

2005 JTU Long Distance Triathlon Championship

Sado

2005JTU ロングディスタンストライアスロン日本選手権 佐渡大会



八代純子、河原勇人、ともにロング日本選手権初優勝

2005JTU ロングディスタンス日本選手権佐渡大会は、9月4（日）、新潟県佐渡市である佐渡島全島にわたるコースで、総合距離 127km（スイム 2km・バイク 105km・ラン 20km）で行われた。

午前 6 時 45 分にスタートした男子は、スイムで佐藤治伸（日本食研）がトップフィニッシュ。つづいて、高濱邦晃（日本食研）、竹内鉄平（愛知県協会）、岩田聡（セントラルスポーツ）、益田大貴（湘南ベルマーレ）など、51.5km で活躍する選手が続々と海から上がった。バイクでは、伊藤功顕（神奈川県連合）が快調にとぼして、前半で首位に立った。その後を追うのは、中本洋平（日東紅茶 TEAM KEN'S A&A）、竹内、益田、須藤和男（日本食研）、5 連覇をめざす松丸真幸（チームスペシャライズド）の順。バイク後半では、竹内が伊藤に追いついて首位に立った。ランに入ると、逃げる竹内を追う河原勇人（日東紅茶 TEAM KEN'S A&A）がじわじわと追い上げ、残り 10km の地点で一気に竹内をかわしてトップ躍り出て、そのままリードを保ってロングディスタンス日本選手権初優勝を飾った。2 位には竹内が、3 位には益田が入った。レース後河原は、「予想外にバイクで遅れてしまった。小木の坂まで調子が出なかった。そのためにランの前半は、つぶれてもいいつもりで走らなければならなかった。竹内選手を捉えた後は、必死で走った」と、喜びを語った。

午前 6 時 47 分スタートの女子は、八代純子（神奈川県連合）がスイムをトップで終わるとバイクでもほかを寄せ付けず、ランでもトップを堅持し、スイム・バイク・ランともすべて一人旅で初優勝した。2 位の佐藤浩巳（茨城県協会）、3 位の宮崎康子（チームガスティ）とも、ランでよく追いつけたが、逆転はならなかった。八代は、「51.5km より長い距離は初めてのレース。勝てたことはもちろん、この距離でも戦えることが分かったことがうれしい」と、涙ぐんだ。

同時に開催された 2005 佐渡国際トライアスロン大会は、競技距離 236km（スイム 3.8km・バイク 190km・ラン 42.2km）の A タイプで、女子が岡いずみ（東京都連合）が初優勝した。松本晴美（岡山県協会）の 8 連覇、10 回目の優勝はならなかった。A タイプ男子では、昨年の雪辱を果たした井出晋一（長野県協会）が 6 度目の優勝となった。昨年優勝の松下篤史（チーム J-BEAT）は 2 位。日本選手権と同距離の B タイプ女子は、鈴木麻美子（東京都連合）が、B タイプ男子では牧伸孝（愛知県協会）が優勝した。また B タイプと同距離のリレーの部では、チーム Z-1 阿賀野市スペシャル（井上孝雄・成海昇・渡辺務）が優勝した。リレーのスイムで出場した大会名誉会長の泉田裕彦新潟県知事は 54 分 45 秒で完泳し、チーム（がんばろう新潟・チーム G）も完走を果たした。

なお、レースの様子はフォトギャラリーでご覧いただけます。

